

<第2学年の生徒・保護者の皆様へ>

本年度の第2学年の数学の授業について案内します。各自が、この1年間の学習目標を定めたり、学習計画を立てたりする上で活用して下さい。

内 容

学期・月	学習の内容	学習のねらい
1 学 期	4 オリエンテーション(1)	・数学の授業の目標、内容、評価などを知る。
	5 1 式の計算(16) ①式の計算 ②文字式の利用	・事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現し活用する能力を伸ばす。 ・文字を用いた式の四則計算ができるようにする。
	6 2 連立方程式(15) ①連立方程式 ②連立方程式の利用	・二元一次方程式を解くことができるようにする。 ・二元一次方程式を用いて具体的な問題解決ができるようにする。
2 学 期	7 3 一次関数(21) ①一次関数 ②一次関数と方程式 ③一次関数の利用	・具体的な事象の中から2つの数量を取りだし、その変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解する。 ・関数関係を見だし考察することができるようにする。
	9 4 平行と合同(17) ①説明の仕組み ②平行線と角 ③合同な図形	・観察、操作や実験を通して、基本的な平面図形の性質を見だし、平行線の性質を基にしてそれらを確認することができるようにする。
	10 5 三角形と四角形(21) ①三角形 ②平行四辺形	・平面図形の性質を、三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察できるようにする。
3 学 期	11 6 確率(10) ①確率	・具体的な事象についての観察や実験を通して、確率を理解することができるようにする。
	12 1年間のまとめ (4)	

評 価

授業の評価は、次のような観点方法で行います。

<評価の観点>

- ① 数学への関心・意欲・態度
・様々な事象を数学的にとらえたり、考えたりすることに関心をもっている。また、数学的な考え方を活用して、問題を解決しようとしている。
- ② 数学的な見方や考え方
・数学的な見方や考え方を身に付け、事象を見通しをもって論理的に考察することができる。
- ③ 数学的な技能
・正負の数の計算、基本的な図形の作図、数量関係を式に表すことなど、数量や図形について、数学的に表現したり処理したりする方法を身に付けている。
- ④ 数量、図形などについての知識・理解
・正負の数、文字と式、方程式、比例反比例、平面図形、空間図形などに関する基礎的な概念や原理法則を理解している。

<評価の方法>

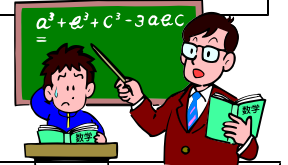
- ・毎時間の授業への取組、定期テストの結果、ワーク、授業ノートや授業ファイル等の内容、提出物の状況、自己評価カードなどを基にして、総合的に評価する。

教材・テスト・学習方法

その他、以下の点についても御確認ください。

<使用教材>

- ・教科書
- ・自作プリント…基礎基本の定着を図るためや個に応じた学習のためのプリント
- ・ワークブック…基礎基本を身に付け、応用力を伸ばすための問題集



<テスト提出物>

学 期	テ ス ト	提 出 物
1 学期	中間テスト・・・「式の計算」 期末テスト・・・「連立方程式」	・中間テスト、期末テスト以外に、各小テストを実施する場合もある ・テストごとに「ワーク」「ノート」等を提出する。
	2 学期	
3 学期	・・・「三角形と四角形」 期末テスト ・・・「確率」	

<学習の進め方>

